

市川の空気を調べる会

通信 2 号

2012 年 11 月 9 日 (金)

発行

市川の空気を調べる会 (代表 鈴木一義)

電話 & FAX : 047-373-8369 E-mail : kazu38yoshi@eos.ocn.ne.jp

☆ 2012 年 6 月度 NO_2 測定結果の概要

定例測定日の 6 月 7 日 (木) ~8 日 (金) は晴れ、弱または微風の測定に適した天候で、ほぼ全地点が定例日に測定されました。

測定数

市川市内 (隣接する松戸市矢切地区、串崎新田を含む) : 382 件

うち有効測定数 : 378 件 紛失数 : 4 件 異常値による再測定数 : 4 件 (有効)

市外 松戸市 関さんの森 : 97 件

船橋市海神 : 4 件

市外の測定は全て有効でした。

市川市内測定結果

本年 6 月度の市内全域と住宅地、沿道地別の平均濃度と測定数を、改良型を用い出した過去 5 年間の 6 月度の値と共に下表に示します。濃度の推移を下図に示します。

		2007 年	2008 年	2009 年	2010 年	2011 年	2012 年
全地点	平均濃度(ppm)	0.032	0.032	0.026	0.023	0.033	0.021
	測定数	351	378	356	377	336	378
住宅地点	平均濃度(ppm)	0.029	0.027	0.021	0.017	0.028	0.017
	測定数	283	282	246	247	229	252
沿道地点	平均濃度(ppm)	0.045	0.047	0.037	0.035	0.045	0.029
	測定数	68	96	110	130	107	126

測定数は 2008 年 6 月度と同数でこれまでの最高でした。

NO_2 濃度はこれまで最も低くなっています。 NO_2 濃度は風速等により大きく変動し、この変動の波は市全体でほぼ同じになります。この変動は市の測定局の NO_2 値から分かりますが、今年 6 月の定例日は周辺の日に比べて高目の日でした。しかしそれでも、実際の測定値がこのように低いということは、このシーズン全体の NO_2 濃度が低かったことを意味しています。この傾向が今後もつづくのか注視してゆきましょう。

☆ 市川市 1 % 支援制度の今年度結果と制度変更について

今年度の当会の結果は下記の通りでした。昨年の結果も併記します。

	届け出人数	届け出金額
2012 年度	49 人	41,024 円
2011 年度	54 人	32,412 円

この結果は、当会の測定協力者約 100 名から見て、届け出人数は少ないと感じますが、会の活動が今後更に知られるようになれば、届け出人数、金額とも増すことが期待されます。

制度の変更について

市民から“趣味的、親睦的な団体が支援対象となっている”との声が出ていることを受け、‘1 % 支援条例’で支援対象となる市民活動団体の条件が次のように変更されます。

団体の活動内容には「社会貢献活動」と「団体の会員のための活動」があります。従来はこの比率を問題にしませんでしたが、今後は前者の「社会 ---」の割合が後者の「団体の ---」の割合より大きいことが必要となります。このためにその団体の会則が重視されます。

ちなみに、当会の会則の第 1 条（目的）には、「市川市と周辺の大気汚染を調べ、市民に知らせて市民の関心を高め、合わせて大気汚染問題の解決の助けになることを会の目的とする」とあり、対象団体に十分該当すると考えられます。

☆ 2012 年 12 月度測定のお知らせ

12 月度の測定が近づいてきました。測定の主な作業日程は次の通りです。

- カプセル作りとお渡し：11 月 18 日（日）11 時～18 時 市川公民館工芸室
- 測 定： **12 月 6 日（木）16 時～7 日（金）16 時**
- カプセル分析： 12 月 22 日（土）9 時 30 分～17 時 市川公民館工芸室

現在、いつもの西部公民館が工事で使えないで市川公民館となります。時間にもご注意願います。また 12 月は早く暗くなるので、測定時間を早めました。

この測定日時は原則として守っていただきたいのですが、カプセル取付け時の降雨は取り付けを困難にします。そこで測定者のご判断で、このような時は日時を前後してください（特に緊急の通知は出さないこととします）。そして記録カードに日時を明記して下さい。定例日の測定でも念のため日時に丸を付けて下さい。そして出来れば日曜日には掛からないようにお願いします。 日の暮れが早く、また寒いので、どうぞご無理をなさらず、くれぐれもお気をつけてお願ひいたします。

☆ 市川市環境フェアに出展しました

今年の市川市環境フェアは 6 月 23 日（土）に、県立現代産業科学館とその前のサイエンス広場で開かれました。当会は担当者の急病で出展が危ぶまれましたが、仲間の協力で昨年に引き続き出展にこぎつけました。

出展内容は 2011 年の 2 回の測定結果をもとに、市川市全体や地域別の NO₂ 汚染状況をグラフで表し、それらの年度による変化も示しました。また、市の横 1 m、縦 1.5 m の白地

図上に、400点近い全測定地点について、濃度別に丸いマークを貼りました。濃度の高いところは赤色、低くなるにつれて橙、黄、緑、青、空色と変えました。これだと一目で市川中のNO₂汚染状況が分かるので、やはり一番関心を集めました。「市内の様子がよく分かる」、「道路際はひどい！」、「あ、私の学校があった」、「市民がこれをやっているのはすごい。もっと広く知らせたら！」、「これをどう生かしているの？」などの意見や質問が出されました。

市の発表ではこの日は16,000人が参加したそうです。当会の大切な目的の「市民にもっと大気汚染に関心を持ってもらう」ためにも、これは最も役に立つ機会かもしれません。今後も力を入れて取り組みたいものです。

☆ 外環道路問題 ～～収用委員会の状況報告～～

外環道路千葉区間は、残念ながら収用事業と認定されて、現在買収に応じていない地権者に対して、収用するか否かの裁決をする収用委員会が開かれています。この10月10日に矢切り地区のAさん、25日に平田地区のNさんに対してそれぞれ2回目の委員会が開かれました。

10日はAさんと外環反対連絡会会員代表の高柳さんの陳述の後、当会代表の鈴木が同連絡会の環境担当として陳述しました。当局が行ったこの道路のアセスメントでは、道路によるNO₂濃度増加量の予測値は、調べる会が実測から求めた予測値の1/3～1/5と低かった。また市川市が独自に行ったアセスメントでは、増加予測値は当局のその3倍以上と高く、当会のそれに近い値だった。この両者のアセスメントの違いの原因としては、用いた車の排出ガス係数が、市川市は実際の走行状況を想定した係数なのに、当局のそれは定速走行時のもので市川市の係数の1/2～1/7と低く、これがその要因と考えられ、起業者は故意に低い予測をしたと考えられた。更に当会による埼玉外環道路周辺での夏と冬におけるNO₂濃度の実測から、道路から500m離れた地点でも道路遮音壁のすぐ外側と同じ高濃度になることを明らかにして、このような大型道路による大気汚染は広範囲に及ぶことを述べました。

これに先立って行われたAさんに対する審理では、認知症を患う母親の家だけ買収し、同一敷地内で母を介護するAさん宅は買収しないという当局の主張でした。高柳さんは、県の公害調停委員会も再アセスメントを求める調停案を出して当局に受諾を迫ったことから分かるように、この道路の公害問題は未解決だと述べ、更に暴力団に買収金を過払いしたり、明らかな官製談合も行っているのに、介護の必要な母子が一緒になれる対応をしようとしない、とその非情さに怒りをぶつけました。

AさんもNさんも、自分のためだけに収用を拒むのではなく、この道路に問題があるからだとの陳述を行い、その姿勢に感銘を受けました。収用委員会による両件の審理はこれで終了し、委員による必要な現地調査が行なわれ裁決等がなされる見込みです。

関さんの森からの報告

いつも貴会のご協力で森とその周辺の約100地点を測っています。長い間の闘いと多くの皆様からご支援をいただいてきた3・3・7号線道路が、ついに9月30日に開通しました。やはり森をかすめて多くの車が通り、住宅地の通学路の車も増えました。森の木々や環境への影響が心配です。そういう訳でこれからも測定を継続することが必要です。どうぞよろしくお願ひいたします。

☆ 大気汚染の話題～～県内学童の喘息罹患率～～

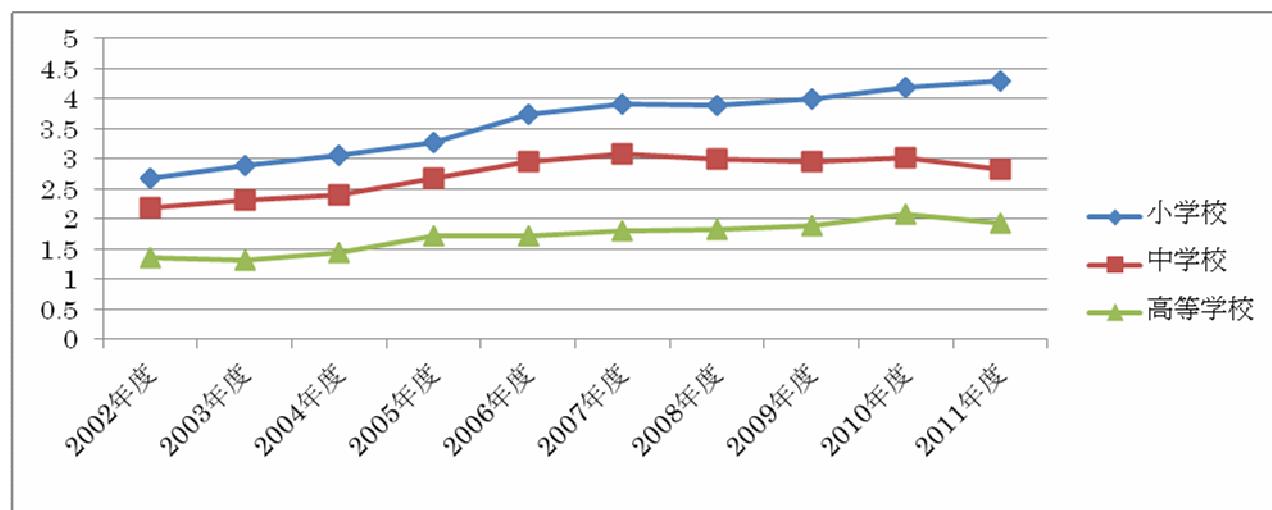
このたび過去10年間（2002～2011年）の、市川市内公立小中学校別の喘息罹患児童生徒数が明らかになりました。某県議の請求に対して市川市教育委員会が提出したものです。市川市の小・中学校の解析はまだですが、下表に示すように、全国と比べて千葉県内小中高校はその喘息罹患率が極めて高く、小学生の6%、中学生の4～5%、高校生の3%が喘息で苦しんでいることが分かりました。表中の全国小・中・高校生の喘息罹患率は下にグラフで示します。依然として喘息にかかる児童生徒の率が増えていることが分かります。

全国および千葉県内小・中・高校児童生徒の喘息罹患率（%）

	年度	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
全国	小学校	2.67	2.90	3.07	3.27	3.74	3.91	3.89	3.99	4.19	4.34
	中学校	2.18	2.32	2.40	2.67	2.95	3.08	3.00	2.96	3.02	2.83
	高等学校	1.36	1.32	1.45	1.71	1.71	1.80	1.82	1.88	2.08	1.94
千葉県内	小学校	6.05 (2.3)	6.09 (2.1)	6.22 (2.0)	6.47 (2.0)	6.21 (1.7)	6.23 (1.6)	6.85 (1.8)	6.76 (1.7)	5.67 (1.4)	5.98 (1.4)
	中学校	4.14 (1.9)	4.16 (1.8)	4.70 (2.0)	4.98 (1.9)	4.71 (1.6)	4.91 (1.6)	5.19 (1.7)	5.19 (1.8)	4.25 (1.4)	4.39 (1.6)
	高等学校	2.80 (2.1)	3.11 (2.4)	2.95 (2.0)	2.92 (1.7)	2.75 (1.6)	2.99 (1.7)	3.17 (1.7)	3.14 (1.7)	3.22 (1.5)	3.09 (1.6)

注)千葉県内喘息罹患率の()内数値は、全国の該当罹患率に対する倍率を示します。

全国小・中・高校児童生徒の喘息罹患率（%）の推移



あとがき

通信1号から1年ぶりの発行となりました。皆様お元気でいらっしゃいますか。NO₂濃度は減少傾向が見えますが、自動車特に大型貨物車が増えているようです。喘息児が増えているのはその影響かもしれません。大気汚染の広報を行う当会の存在は貴重と言えましょう。今後ともご協力をよろしくお願い申し上げます。 [年会費納入のお願い：2012年度の会費または賛助会費が未納入の方は、ご納入をよろしくお願ひいたします。]

市川の空気を調べる会 事務局 秋元久枝 電話&FAX:047-373-1971

〒272-0827 市川市国府台3-8-4